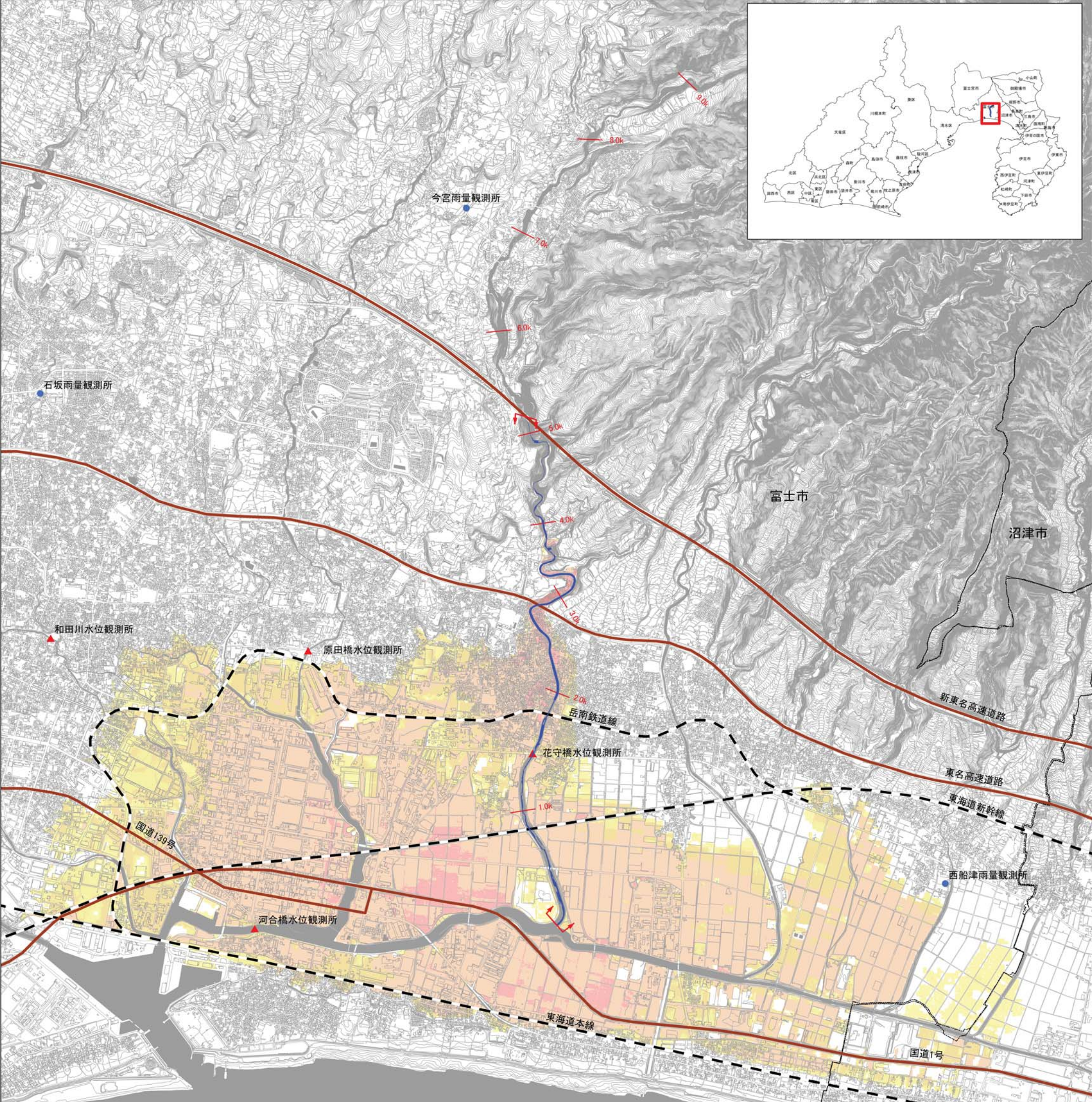


富士川水系赤淵川 洪水浸水想定区域図 (想定最大規模)



凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	10.0m ~ 20.0m
	5.0m ~ 10.0m
	3.0m ~ 5.0m
	1.0m ~ 3.0m
	0.5m ~ 1.0m
	0.3m ~ 0.5m
	0.3m 未満
	市町境界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1 説明文

(1) この図は、富士川水系赤淵川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された想定し得る想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の赤淵川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により赤淵川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等は考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	静岡県
(2) 指定年月日	令和3年9月28日
(3) 指定番号	静岡県告示第755号
(4) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5) 対象となる水位周知河川	・富士川水系赤淵川(実施区間) 左岸：富士市間門新東名高速道路から沼川合流点まで 右岸：富士市間門新東名高速道路から沼川合流点まで
(6) 指定の前提となる降雨	沼川流域の24時間の総雨量694.5mm
(7) 関係市町村	富士市、沼津市
(8) その他計算条件等	

① この図は、赤淵川の水位周知区間で破壊した場合の洪水浸水想定区域図を図示しています。

② この図は、赤淵川の沼川合流点より上流において、一定の条件で破壊させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 洪水浸水想定区域図は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

この地図は、富士市長の承認を得て、同市所管の都市計画基本図(平成29年修正)を使用し調製したものである。(富都発 都1043)
 この地図は、沼津市長の承認を得て、沼津市国土基本図を複製したものである。(沼企政第112号の2)
 ※A1判出力時は1:15,000、A3判出力時は1:30,000